

AIC (Agency for Integrated Care) について

- 1992年に保健省 (MOH) の下、老人ホームや慢性期病院ユニットへの高齢者の入所・入院を調整するCLS（ケアリエゾンサービス）として設置された。
- 2001年にCLSはICS（統合ケアサービス）となり、病院退院計画においてより大きな役割を担い、病院から地域社会への患者のスムーズな移行を促進するために拡大した。
- 2008年にICSはAIC（統合ケア庁）に改名され、2009年にはMOHの下で独立企業体として生まれ変わり、国のケア・インテグレータの役割を担うようになった。
- 2018年には、AICは高齢者ケアサービスの提供を調整し、健康と社会生活の両方の領域にわたるサービスの開発と提供を行う単一の機関に指定された。
- AICの二つの使命は、高齢者とその介護者に適切な介護をアドバイスし、彼らのために最良のケア結果を達成することである。また、高齢者が住み慣れた地域社会で暮らしていくこと（エイジング・イン・プレイス）をサポートするために、地域ケアを変革することである。
- シンガポールの医療システムは高齢化に備えて変革を遂げている。AICは、患者中心の統合ケアに向けて、病院から地域社会へのシームレスなケアが達成できるように様々な利害関係者と協力し調整を行っている。

■ 社会福祉政策に関わる行政組織

